

特定非営利活動法人
エイズ孤児支援NGO・PLAS

事業・決算報告書

2014年度

2013年10月1日－2014年9月30日



Our Mission

HIV/エイズによって影響を受ける子どもたちが笑顔でいられる社会を実現する。

Our Value

私たちが大切にすること

1. 地域で子ども達が育つことを大切にします
2. 地域と共に活動し、住民の自立を優先します
3. 前向きにチャレンジし、成長しつづけます
4. 人とのつながりを大切にし、お互いを尊重します

Contents

1. Our Mission, Our Value
2. 海外事業 ケニア
3. 海外事業 ウガンダ
4. 国内事業 世界エイズ孤児デーキャンペーン
5. 国内事業 世界エイズデーキャンペーン
6. 国内事業 主催イベント、助成金実績、主なメディア掲載

KENYA

ニャンザ州ウゲニャ県

地域概要

この地域はケニア共和国で最もHIV感染率が高いニャンザ州に位置しており、HIV感染率がケニア共和国全体で約8.3%であるのに比べ、このウゲニャ県のHIV感染率は2002年の時点で28%です。住民の多くが農業に従事しており、住民の約6割が絶対的貧困層と言われています。



HIV / AIDS

エイズ孤児のカウンセリング事業を開始しました



孤児となった子どもたちと引き取り先の保護者に対して、心理的及び社会的な両面からカウンセリング支援を提供する活動を開始しました。

半年ほどのプロジェクトですが、このプロジェクトを通し、地域にカウンセラーを育成し、100名のエイズ孤児たちをサポート、地域に貢献することを目指します。このプロジェクトは、LUSHチャリティバンクにより助成を受け、ケニアのNGO、SWAK(スワック)をパートナー団体とし、プラスとSWAKが共同で行います。



カウンセラーのフェルゴンさん

カウンセリング事業:カウンセラーの活動にかける思い

私は今までに75人の子供達を里親の家族へ送り出してきました。それが続けてこられたのは私の教育に対する熱意であり、孤児ではなく、誰かの家族の一員として生きていって欲しいという子供達への願いが強かったからです。

また現在、私はHope For Childrenという団体の中の大使としてエイズに侵された人たち、そしてエイズ関連で苦しい思いをした人達を助ける活動をしています。さらにHIV陽性者支援グループも立ち上げ、講演なども行っています。

母子感染予防事業が終了しました

3年間に渡り実施されてきた母子感染予防事業が、終了しました。今後は、保健省を含めた地域の行政組織と連携することにより、行政主導の地域内における啓発活動に起用されるなど、行政サポートを通して、継続的な活動を行うことが可能となります。本事業で育成された啓発リーダーが実施する啓発活動で知識を身につけた地域住民が新たな啓発リーダーになり、母子感染予防についての情報を更に普及させる。このような好循環を期待しています。



最終日には、3年間啓発活動に取り組んできた啓発リーダーに修了書が授与されました

UGANDA

ジンジャ県

地域概要

ウガンダ共和国ジンジャ県。豊富な水資源に恵まれた肥沃な土地を利用した農業で生計を立てている家庭が多いのが特徴です。経済的理由などから学校に通うことができないエイズ孤児が多くおり、特に中退が問題となっています。ジンジャ県の初等教育の中退率は77.8%にのぼります。



Income Generating Activity

シングルマザー家庭を対象としたペーパービーズ事業を開始！



ペーパービーズの生産者達であるカユंगाのメンバー

HIV陽性のシングルマザーを対象に収入向上事業を開始します。エイズ孤児が養われている家庭では、母親が亡くなってしまふよりも父親が亡くなってしまふケースの方が断然多く、その中でもさらに母親自身がHIV陽性で、シングルマザーとして残された子どもたちを養っているという状況があります。

「懸命に働いて子どもたちを学校に通わせようとしても、経済的な理由で一部の子どもを学校に通わせられない」という状況を改善するため、ペーパービーズのクラフトを作製し販売することで収入向上をはかり、子どもたちの学費支援に役立てます。

Agriculture

自立運営に向けて～マーケティング研修、孵卵器での孵化の開始



鶏舎完成後、11月4日に初めての卵がとれて以来、採卵できる数も増えています。2013年のはじめに追加で250羽のヒナを支援した他、自立運営に向けたマーケティング研修を実施しました。

既に卵の収益で子ども達の学費の支援が始まる等の成果も出ていますが、研修後は、エサの入手方法や、鶏・卵の販路を見直したり、孵卵器でヒナに孵化する等、自立的継続的な運営に向けて、更に意欲的に取り組んでいます

Gift

制服の贈呈式を行いました

ザ・ボディショップからの支援で、約50名のエイズ孤児達へ制服と学用品を贈りました。家が貧しく、制服や学用品を家庭で用意することができない家庭の子どもたちが対象です。贈呈式には47名の子ども、そしてその保護者や家族75名カユंगाのメンバー20名、行政や学校関係者10名の、総勢約150名が集いました。



代表の門田から、一人一人の保護者と子ども達に、手渡しで贈呈しました。

世界エイズ孤児デーキャンペーン2014

5月7日の世界エイズ孤児デーに合わせて
エイズ孤児を知ってもらい、
支援につなげるための啓発キャンペーン

キャンペーン概要

4月16日～5月31日まで、世界エイズ孤児デーキャンペーンとして、チャリティパーティやトークイベント、毎年大好評のチャリティオークションなど様々な企画を行いました



Party

世界エイズ孤児デーチャリティパーティーを東京・茗荷谷で開催

5月25日に、株式会社シータス&ゼネラルプレス本社ビルにて世界エイズ孤児デーチャリティパーティーを開催しました。参加者93名、支援企業や当日ボランティアの方などを含めて総勢126名が集まりました。

「スペシャルトークセッション～わたしのPositive Living」では、ゲストに土屋アンナさんをお迎えし、代表の門田と2名でのトーク。フリータイムでは、FATIMATAさん率いるアフリカンダンスチームが情熱あふれるガーナ発祥のダンスの披露があり、盛り上がりました。また、ザ・ボディショップ、LUSHご提供の素敵な商品が当たるクイズラリーでは、パーティーの感想やプラスへのメッセージを頂きました。



Photo Exhibition

安田菜津紀さん写真展「Ekilooto of Uganda～HIVと共に生まれる」



5月13日～5月20日まで写真展が開催されました。会場では、安田さんがウガンダで出会った、HIV/AIDS孤児の子どもたちやその家族の写真が展示されました。最終日には安田さんをお迎えし、特別企画トークイベントを開催。フォトジャーナリストになるまでの思いから、カンボジアの子どもたちとの関わり、文化やコミュニティーHIV/AIDS、国際協力についてお話頂きました。

Web

キャンペーン特別ブログ「私のPositive Living」



4月16日～5月31日の期間、プラスのボランティア、サポーター、協力者など活動を応援する人たちが毎日ブログを更新！

テーマは「私のPositive Living」。それぞれの生き方や想いを通して、前向きなエネルギーをお届けしました

世界エイズデーキャンペーン2013

キャンペーン概要

世界エイズデーとは、1988年にWHOが制定したもので、毎年12月1日、世界各地でHIV/エイズに関する活動が行われています。
 プラスでは、世界エイズデーに合わせて11月1日～12月25日まで世界エイズデーキャンペーンを行いました。チャリティパーティやチャリティオークション、Facebookを活用したチャリティweb企画など様々な企画を通して、多くの方に参加していただきました！



Party

世界エイズデーチャリティパーティー



11月30日(土)に総勢101名の方に参加して頂き、世界エイズデー・チャリティーパーティを開催しました。「The Power of Maternity」をテーマに、小さなお子様連れのママたちが多数参加。中西モナさん、ダイアログ・イン・ザ・ダーク理事の志村季世恵さん、プラス代表門田によるママトークセッション、アフリカ体験コーナーなど様々な催しに多くの方に参加していただき、大変盛り上がりました。
 トークでは、ウガンダから日本へ留学中のエイズ孤児カソボ・メーブルさんが、自身の生い立ちやエイズ孤児たちへの想い、将来の夢、日本の皆さまへのメッセージなどを語ってくれました。

Web

Facebookチャリティ企画

「みんなの力で～エイズと共に生きる子どもたちに寄付しよう！」



キャンペーン期間中にプラスのFacebookページに赤色の写真を投稿すると50円が寄付になるチャリティ企画です。
 11月20日から12月11日まで実施されたこのキャンペーンでは、417人の方が新たに「いいね！」していただき、合計20,850円がプラスの活動に寄付されました

Web

チャリティオークション、過去最多の出品協力

11月6日から9週間にわたり、Yahoo!オークションサイトのチャリティオークションページにて、著名人の方のサインや私物等を出品させていただきました。
 過去最多の合計44名の方にご協力いただき、総計出品数163品、総額落札金額198万7,025円となりました。



国内 事業

主催イベント・その他の活動実績

定期的に実施している主催イベントは2種類。
月例のPLASRoom、3~4ヶ月に1回開催している
PLASMeetupを合わせ2014年度は計10回実施しました。
その他にも、講演活動の強化やチャリティウェブ
ショップの改訂など、日本から気軽にエイズ孤児支援に
参加できる取り組みを行いました。



Event



定期主催イベントPLASRoom/PLASMeetup

定員20~60名程度で実施する主催イベント。プラスの活動
をお伝えしました。2013年度(2013年10月~2014年9月)
は計10回実施、合計151名がご参加下さいました。

Award

第二回Salesforce活用自慢大会で準優勝しました

7月18日に行われた第二回Salesforce活用自慢大会で、
「業務改善」点では最高得点を獲得し、ヤフー株式会社に
続き準優勝を獲得しました。
大会には、大手企業等6社の参加があり、プラスは唯一の
NPOでした。プレゼンテーションの中では、プラスの設立
当時の様子や、今まで面してきた危機などプラスの現在に
至るまでを門田がお話させていただきました。



Cloud Funding

2014年8月19日から、新しい取り組みとして、クラウドファンディングを開始しました。クラウドファンディングサイト「Moonshot」上で、不特定多数の方々から、ウガンダで新規に開始するペーパービーズプロジェクトへの支援を募ります。

Campaign

2013年11月1日~12月25日まで実施した「寄付のできるエイズ孤児支援」キャンペーンを実施。期間中1,315,088円のご寄付が集まりました。

助成金・ 企業寄付 実績

- ・独立行政法人国際協力機構草の根無償資金協力事業
- ・日本国際協力システム JICS NGO支援事業助成金
- ・Panasonic NPOサポートファンド
- ・アーユス仏教国際協力ネット NGO組織強化支援事業助成金
- ・ウインローダー エコオクファンド
- ・日蓮宗宗務院あんのん基金
- ・株式会社ラッシュジャパン チャリティポット助成金

他

主なメディア 掲載

- 新聞/雑誌
先見経済、仏教新聞
- ネットメディア
・「mamaPRESS(ママプレス)」に小島の連載が掲載されました。
・パラレルキャリア支援サイト「もんじゅ」に理事・一宮のインタビューが掲載されました

特定非営利活動法人
エイズ孤児支援NGO・PLAS
〒141-0021 東京都品川区上大崎3-14-58クリエイト目黒2A
TEL/FAX 050-3627-0271 info@plas-aids.org
www.plas-aids.org/